

第7回 現地活動報告 (日程 2011.5.2~5)

株式会社危機管理教育研究所

首記につきまして、皆様の善意の品を下記の通り持参いたしましたのでご報告申し上げます。

記

1. 日程	平成23年5月2日(月)～5日(木)	
2. 実施	(敬称略) 危機管理教育研究所、NPO法人国境なき技師団、WASEND、目黒原町会、海上保安庁協力団体(東京目黒うみもり会、近畿うみもり会)、東京消防庁災害時支援ボランティア(目黒消防署)、すぺーす百貨、NHK出版、NPO法人東京いのちのポータルサイト、西京青少年補導委員会松尾支部 大船渡サポートネットワークセンター 他	
3. 行程	今回はマイクロバス1台、東京から乗用車1台、関西から(西京青少年補導委員会松尾支部)乗用車1台、総勢約30名でボランティア活動を行いました。	
	5月2日(月)	
	18:30 危機管理教育研究所	発
	19:15 目黒	着
	19:30 青葉台	着
	22:15 那須高原SA	着 [20分]
	23:55 国見SA	着 (給油約50分待ち→通過)
	5月3日(火)	
	00:25 菅生SA	着 (給油、関西組と合流) [40分]
	02:20 前沢SA	着 (給油、休憩)
	02:20 水沢ICで一般道へ R256、397 経由で一路大船渡市へ	
	04:00 下富岡公民館	着 (約2~3時間睡眠)
	08:25 下富岡公民館	発
	08:30 福祉の里センター	着 (支援物資一部搬入) [60分]
	10:05 碁石海岸レストハウス前広場	着 (心のケア活動、炊き出し) [330分]
	16:00 福祉の里センター	着 (炊き出し機材おろし等) [60分]
	17:10 現地被害調査	[40分]
	18:10 福祉の里センター	着 (入浴)
	18:55 下富岡公民館	着 他団体との交流会
	5月4日(水)	
	08:00 下富岡公民館	発

	08:05 福祉の里センター 着 [30分] 09:05 大陽公民館 着 (心のケア活動、救援物資) [80分] 10:30 慈恩寺 着 (救援物資、個人宅の片づけ手伝い等) [120分] 13:00 モビリア 着 (心のケア活動、救援物資) [100分] 14:50 米崎小学校 着 (心のケア活動、救援物資) [120分] 17:05 下富岡公民館 着 17:45 五葉温泉 着 [50分] 18:55 下富岡公民館 着 5月5日(木) 06:20 下富岡公民館 発 ↓ 現地被害調査 07:40 下富岡公民館 着 08:15 下富岡公民館 発 09:15 セブンイレブン(気仙沼市内) 着 (トイレ休憩) [10分] 09:40 気仙沼市役所 着 (義援金、メッセージ書き等) [40分] 10:40 気仙沼市立階上地区公民館 着 (心のケア活動、救援物資) [60分] 13:05 ガソリンスタンド(一関) 着 (給油、トイレ休憩) [15分] 13:50 長者原SA 着 (昼食) [50分] 16:55 国見SA 着 (トイレ休憩) [20分] 18:45 安達太良SA 着 (トイレ休憩) [20分] 20:45 東海SA 着 (トイレ休憩) [15分] 21:50 守谷SA 着 ⇒一部解散 22:30 渋谷駅 着 ⇒一部解散 22:45 目黒 着 ⇒解散 ※[]内は滞在時間	
4. 訪問先	①福祉の里センター ②碓石海岸レストハウス前広場 ③大陽公民館 ④慈恩寺 ⑤モビリアキャンプ場 ⑥米崎小学校 ⑦気仙沼市役所 ⑧階上地区公民館	・各避難所に救援物資を提供 ・被災者への心のケア活動 ⇒リラクゼーションマッサージ (肩もみ、ハンドマッサージ、全身マッサージ) ・フルーツ演奏 ・子供たちと遊ぶ ・炊き出し(わたあめ、豚汁) ・家屋、庭掃除の手伝い ・応援メッセージ書き
5. 支給品	財布[411]、ポーチ[40]、ヘルメット[8]、バック小[201]、帽子[30]、スリッパ[5]、	

	<p>文具[1箱]、石鹸[89]、マグカップ[11]、冬物下着[2箱]、水[6ケース]、靴[3箱]、衣類男女各[9箱]、バスタオル[20]、フェイスタオル[100]、幼児衣服、女性衣服、子供衣服、食器、雑巾、水筒、弁当箱、ノート、カレンダー、ぬいぐるみ、絵本、ラック、おもちゃ、子供用雑誌[80] 扇子[10]、うちわ[10]、菓子、掃除道具等 ※[]内は個数</p>	
<p>6. 概況</p>	<p>①福祉の里センター (大船渡市)</p>	<p style="text-align: center;">～今回の活動～</p> <p>救援物資の搬入。今回持ってきた救援物資を一時保管していただき、3日かけて各避難所に届けました。</p> <div style="text-align: center;">   </div>



今回提供した支援物資



お財布プロジェクト物資

(写真は長野県飯田市職員労働組合様からの提供品)
 ※お財布プロジェクトは、お財布が集まり次第実施する予定
 になっています。現在500個が集まり、目標数の3000
 個に達するまで、ここに保管をお願いしています。

②碓石海岸レストハウ
 ス前広場
 (大船渡市末崎町)

～活動概要～

- ・炊き出しの手伝い (テント説明、かまどづくり、調理、豚汁の提供[300食]、
- ・わたあめの手伝い (機材の設置、わたあめづくり)
- ・心のケア活動 (ハンドマッサージ、肩もみ、フルーツ演奏)
- ・物資の提供 (物資を運ぶ紙袋等)

～詳細～

大船渡サポートネットワークセンター主催の支援物資提供
 と炊き出しが行われ、そのお手伝いをしました。さくらの花

が咲き舞う晴天のなかで、支援物資（衣類、くつ、キャベツ、オムツ、生理用品、カレンダー、防犯ブザー、老眼鏡など）の提供、豚汁300食やわたあめの提供、フルーツ演奏、リラクゼーションマッサージのサービス、絵本の読み聞かせ、子供遊びコーナー（フリスビー）などが行われました。老若男女問わず多くの被災者の方が参加し、被災者とボランティアの交流が深められました。わたあめは、わたあめ作りに挑戦する子どもや何度も並んで食べに来る子どもがいるなど、非常に人気で喜ばれました。隣接した碁石海岸レストランは営業を開始していたため、昼食やお土産の購入など積極的に利用しました。

～被災者の様子～

開始前から長蛇の列で開始を待っていらっしゃいました。避難所で配布される物資には選ぶものも限られているため物資を集めて自由に選んでもらう今回のスタイルは非常に喜ばれました。また、自宅に避難している方にとっても物資を受け取るよい機会となったようです。天気も気温もイベント日とで、桜の花の下でレジャーシートを敷いてのんびりくつろいだり、遊歩道を散歩したりといった被災者の方の心休まるいつときになったようです。リラクゼーションマッサージを受けながら私たちに被災時の体験や思いを語ってくれました。「必死に逃げて後ろを振り返ったら後ろにいた人がいなくなっていた」「海はまだ怖くて見られない。」笑顔の奥で被災者の苦しみは続いています。



テント設営



調理中



豚汁の提供開始



わたあめコーナー



青空市（物資選び）の様子



桜の木の下でくつろいでいる様子



災害救助犬と触れ合う子どもたち



広場に隣接したレストランは営業を再開している

③大陽公民館
(陸前高田市)

～活動概要～

- ・ 救援物資の提供
- ・ 心のケア活動（肩もみ、ハンドマッサージ、全身マッサージフルート演奏）
- ・ お菓子の袋詰め作業（子どもの日ということもあり、こいのぼりのお菓子が届けられていました。30袋分の袋詰めの手伝い）

～状況～

4月末で避難所を閉鎖し、避難していた方たちは自宅や親類の家、貸家で過ごしています。毎日公民館でミーティングと物資の仕分けと各住家への物資の配達を行っています。主な物資は自衛隊が毎日届けています。私たちが訪問した時は、水、牛乳、フルーチェ、カレーが届けられていました。まだ水は復旧していません。こちらは、リーダーがしっかりしていて、地震直後から、みなぎ協力して生活を支えたモデル的な地域だと感じました。日ごろからの地域コミュニティが大切だと改めて感じます。 マッサージを受けていた女性が、

		<p>マッサージを受けながら眠っていたのを見て、お疲れを感じました。今回はマッサージを受けながらフルートの演奏を聴いていただくという、心と体をほぐすプログラムを実施しましたが、大変に感謝されました。</p> <p>今回届けた物資は以下の通り 和菓子（饅頭[49個]、団子[30個]）飲料水、タオル他</p>
④慈恩寺		<p style="text-align: center;">～活動概要～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の提供 <p>※訪問時、多数外出中で慈恩寺では救援物資の提供のみ</p> <p>慈恩寺周辺の家の子づけの手伝いを2軒行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内から大切なもの（遺影、賞状）の取り出し ・ 庭の掃除。ガラスの破片、紙くずを掃除していると写真、年賀状、お金などが発見できた。 <p style="text-align: center;">～慈恩寺周辺の状況～</p> <p>がれきの撤去が少し進んでいる。家、庭の掃除が始まっている。私たちがお手伝いをした家では、自衛隊が被災住宅を重機で整地する前に、貴重品や思い出の品、植栽等の移設をしていた。どこでも言えることだが、家の人だけで掃除するにはかなりの量になり負担も大きい。家の片づけのボランティアの必要性を感じたが、本日の時点で私たち以外に、この地域に入っている片づけのボランティアはいなかった。自宅を片付けている最中に、スタッフの一人が他家からの流入品を見つけた。知人のものらしく、手渡してくださることに。</p> <p>届けた物資は以下の通り 掃除用具（ほうき、ちりとり、スポンジ、ビニール袋、粘着シート（コロコロ）他）</p> <div style="text-align: center;">  </div>



慈恩寺に避難されている方からの感謝のメッセージ



自宅の後片付けのお手伝い

⑤モビリアキャンプ場

～今回の活動～

- ・ 救援物資の提供
- ・ 心のケア活動（肩もみ、ハンドマッサージ、フルート演奏）
- ・ 物資仕分け

～状況～

物資仕分け班1組、心のケア活動班2組に分かれて活動しました。避難されている方が外出中であまり人がいませんでしたが、フルート演奏をととても喜ばれていて、演奏に合わせて歌われている方もいました。ドームハウスにいらっしゃる高齢者の方からは、震災依頼初めてマッサージを受けたと喜んでいただけました。支援の手はだんだん届いていて、足湯サービスや炊出し（お好み焼き、焼肉等）があったようです。総合案内所は罹災証明の手続き会場になっていて人の出入りは多くありました。物資はモビリアの外の施設で集積していて、仕分けができていないということでお手伝いをしまし

		<p>た。しかし、限られた時間内での作業に対し、物資の仕分けの方がまだまだありそうでしたので、区切りのよいところまでできなかったことが心残りです。外では仮設住宅の建設が進んでおり、5月5日完成予定。</p> <p>届けた救援物資は以下の通り 靴下[1箱]、衣類、子供用雑誌（小学館様よりご提供いただきましたコロコロコミックなど）[32冊]、文具（ペン、定規、ノート）他</p>
<p>⑥陸前高田市立米崎小学校</p>		<p style="text-align: center;">～活動概要～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救援物資の提供 ・心のケア活動（肩もみ、ハンドマッサージ、全身マッサージ、子供たちと遊ぶ[鬼ごっこなど]、フルート演奏） <p style="text-align: center;">～状況と所見～</p> <p>断水はまだ続いている状況。薬剤師のボランティアによる薬の提供、健康相談が行われていました。薬はあるもののオブラートはなく薬が飲みにくいという声が聞かれました。フルート演奏では被災者の方のリクエストに応え、その方の素晴らしい歌声に拍手喝采でした。校庭には仮設住宅が完成していて、米崎小学校に避難している方の半分（40名）の入居が決定したということです。体育館に山積みになっていた救援物資は、避難者に均等に配分されていて、仮設住宅に住む準備が進んでいました。マッサージをした女性は、息子さんの家において、避難所に遊びに来ていた女性でしたが、「避難所に入ったほうが良かったかもしれない、さっき、避難所に入れませんかと聞いてみたところ」とおっしゃっていました。家族、親戚のうちに避難した人の孤独感、これから仮設住宅に入った人にも少なからず出てくるのだろうと、こうした人のケアの必要性も感じます。</p> <p>仮設住宅は水が出るようで、早ければGW明けから入居となります。仮設住宅は思いのほか狭く、荷物も限られるようで収納する家具が必要のようです。また、使い勝手として気になるのは玄関のドアを開けるとすぐに室内ということで外に靴を出す間取りになっています。雨の日を考えるとなにかしら対策が必要です。カーテンは備え付けで、家電製品は親族から送ってもらうという人もいて、足りないのは掃除用</p>

	<p>具、調理用品、収納家具でしょうか。限られた空間ですから、必要最小限のもので快適に過ごす生活術が求められます。</p> <p>届けた救援物資は以下の通り 子供用雑誌（小学館コロコロコミックなど）【64冊】</p>  <p>仮設住宅完成</p>
<p>⑦気仙沼市役所</p>	<p>～今回の活動～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義援金提供 ・活動場所の打ち合わせ ・白い鯉のぼりに気仙沼へのメッセージ書き ・教育委員会との打ち合わせ <p>～状況～</p> <p>市役所前の信号機は動いていましたが少し離れると信号も止まったままで、がれきの山が辺り一面に広がっていて、津波により打ち上げられた大型船がそのまま残っていました。大船渡市と同じように、お店が開いている日常の生活が営まれている地域と津波による甚大な被害がある地域が混在していて、その差に愕然とします。</p> <p>休日のためか、災害対策本部が設置されている施設はひっそりとしていました。</p>

		
	<p>⑧気仙沼市立階上地区 公民館</p>	<p style="text-align: center;">～今回の活動～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の提供 ・ 心のケア活動（肩もみ、ハンドマッサージ、フルート演奏） <p style="text-align: center;">～状況～</p> <p>入口には義援金申請の受け付けがあり、申請順に1か月程度で義援金が振り込まれることのことです。多くの高齢者が避難所で生活されています。こちらの地域では電気、水道が通っていません。兵庫県から看護師さんがボランティアに来ていて、健康相談がなされていました。2階には福井県から派遣された赤十字社の整体師の方がいらっしゃり、施術用ベッドが4台設置されて、体操指導やマッサージが行われていました。2階と1階でそれぞれにフルート演奏を聴いていただき、「ふるさと」の曲を合唱しました。合唱が終わった後に「ふるさとの曲がたまらない」と涙を流していた方がいらっしゃり私たちも胸が詰まりました。</p> <p>届けた物資は以下の通り お菓子（たけのこの里、コアラのマーチ、せんべいなど）</p>



入口に義援金の申請受付が設置されていました。



フルートの演奏



メッセージが書かれた鯉のぼりが泳いでいました。

<p>番外編</p>	<p>宿泊先の公民館にて</p>	 <p>少しの時間でも柔道整復師の先生からハンドマッサージの指導を受け練習をしています。</p>
	<p>大船渡市赤崎町にて</p>	 <p>壊れた車の集積場（見渡す限りの車の数）</p>  <p>被災した中学校ががれきの仮置き場に</p>

空き時間に現地の現地被害調査も行いましたが今回の報告では省略させていただきます。

以上